

# 平成24年12月 全国百貨店売上高概況

平成25年1月17日

## I. 概況

1. 売上高総額	7,165億円余
2. 前年同月比	-1.3% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス)
3. 調査対象百貨店	86社 249店 (平成24年11月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,324,398㎡ (前年同月比:-1.3%)
5. 総従業員数	82,927人 (前年同月比:-5.4%)
6. 3か月移動平均値	5-7月 -1.9%、6-8月 -2.0%、7-9月 -1.7%、 8-10月 -1.3%、9-11月 -0.1%、10-12月 -0.5%

[参考] 平成23年12月の売上高増減率は0.8% (店舗数調整後)

### 【12月売上の特徴】

12月は2か月ぶりの前年同月比マイナスであったが、平成24年年間の累計では、店舗数調整後(既存店伸び率)で+0.3%と16年ぶりに前年を上回る結果となった。店舗数調整前の年間売上高総額は6兆1,453億円(前年6兆1,525億円/-0.1%)と僅かに及ばなかった。

既存店ベースの年間売上高がプラスした背景には、①3月の震災反動による大幅増、②消費マインドの変化(本物志向、こだわり消費)、③都心大型店の増床・改装等大型投資などがある。

12月単月の商況を商品別に見ると、例年以上の気温低下でマフラー・手袋等の小物やブーツ等防寒用品は好調であったものの、主力の重衣料が前月に需要前倒ししたこともあって、衣料品全体としては若干低調(-1.8%)に推移した。また、比重の大きい12月の歳暮商戦は国政選挙の影響から特に地方店において不振(その他食料品:-3.8%)であったため、好調を持続する身のまわり品(+0.8%)、化粧品(+1.7%)、美術・宝飾・貴金属(+0.7%)の健闘も及ばなかった。一方、11月と12月の年末商戦通期では総額で前年をクリア(+0.2%)した。

地区別の商況では、大型店の改装効果を反映した名古屋、大阪、神戸の3地区がプラスしたものの、東京が前年割れするなど、全国的には11月への需要前倒し傾向が見られる。

回復基調にある訪日外国人は、2か月連続のプラス(売上:+11.3%、客数:+7.7%)となり、平成24年年間の免税手続ベースの売上高は202億円(+26.7%/調査対象44店舗)と2年ぶりに大幅な伸びを記録する結果(経験値による捕捉率4割を加味した場合の推計総売上高は約500億円)となった。

### 【要因】

- (1) 天候 : 気象庁発表「12月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)
  - ◇ 寒気が流れ込んだ影響で気温は全国的に低く、東日本ではかなり低かった。また、北日本から西日本にかけての日本海側では降雪量が多く、北海道ではかなり多かった。降水量も全国的に多く、日照時間は少なかった。
- (2) 営業日数増減 31.0日(前年同月比±0.0日)
- (3) 土・日・祝日の合計 11日( // +1日/日曜1日増・祝日と重複し振替休日)
- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数135店舗)
  - ①増加した:23店、②変化なし:37店、③減少した:75店
- (5) 12月歳時記(クリスマス、歳暮、天皇誕生日、冬至、大晦日)の売上(同上/有効回答数113店舗)
  - ①増加した:8店、②変化なし:60店、③減少した:45店
- (6) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値/有効回答数170店舗)
  - ①増加する:21店、②変化なし:90店、③減少する:21店、④不明:38店

# 全国百貨店 売上高速報 2012年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ( )が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>全国</b>	<b>716,585,812</b>	<b>100.0</b>	<b>-1.3 ( -2.1)</b>
<b>10都市</b>	<b>476,183,064</b>	<b>66.5</b>	<b>-0.4 ( -0.9)</b>
札幌	17,890,568	2.5	-0.5
仙台	10,757,253	1.5	-3.6
東京	173,751,736	24.2	-1.1 ( -1.9)
横浜	42,224,797	5.9	-1.7
名古屋	43,129,660	6.0	1.2
京都	27,859,678	3.9	-2.6
大阪	99,728,413	13.9	2.3
神戸	20,654,047	2.9	1.3 ( -4.0)
広島	16,985,569	2.4	-4.7
福岡	23,201,343	3.2	-0.2
<b>10都市以外の地区</b>	<b>240,402,748</b>	<b>33.5</b>	<b>-3.0 ( -4.3)</b>
北海道	3,996,345	0.6	-2.6
東北	11,418,598	1.6	-3.3
関東	112,128,537	15.6	-3.7 ( -6.4)
中部	18,725,081	2.6	-3.8
近畿	23,855,834	3.3	-1.1
中国	16,963,627	2.4	-2.0
四国	13,375,503	1.9	-1.9
九州	39,939,223	5.6	-2.7

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>716,585,812</b>	<b>100.0</b>	<b>-1.3 ( -2.1)</b>
紳士服・洋品	50,221,676	7.0	-1.3 ( -2.0)
婦人服・洋品	127,370,229	17.8	-1.6 ( -2.3)
子供服・洋品	13,536,723	1.9	-4.1 ( -5.9)
その他衣料品	15,153,800	2.1	-3.3 ( -4.3)
<b>衣 料 品</b>	<b>206,282,428</b>	<b>28.8</b>	<b>-1.8 ( -2.6)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>86,970,412</b>	<b>12.1</b>	<b>0.8 ( -1.0)</b>
化粧品	34,019,756	4.7	1.7 ( 1.1)
美術・宝飾・貴金属	32,376,333	4.5	0.7 ( -0.1)
その他雑貨	27,795,895	3.9	-2.7 ( -3.0)
<b>雑 貨</b>	<b>94,191,984</b>	<b>13.1</b>	<b>0.0 ( -0.5)</b>
家 具	7,311,252	1.0	-5.3 ( -6.0)
家 電	2,028,145	0.3	19.0 ( 19.0)
その他家庭用品	22,084,240	3.1	-4.9 ( -5.8)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>31,423,637</b>	<b>4.4</b>	<b>-3.7 ( -4.6)</b>
生 鮮 食 品	56,447,607	7.9	-3.0 ( -3.6)
菓 子	66,751,204	9.3	-0.2 ( -0.8)
惣 菜	54,764,763	7.6	-1.0 ( -1.5)
その他食料品	82,940,203	11.6	-3.8 ( -4.2)
<b>食 料 品</b>	<b>260,903,777</b>	<b>36.4</b>	<b>-2.1 ( -2.7)</b>
食 堂 喫 茶	17,058,479	2.4	2.7 ( 2.2)
サ ー ビ ス	6,155,227	0.9	-1.0 ( -1.9)
<b>そ の 他</b>	<b>13,599,868</b>	<b>1.9</b>	<b>2.2 ( 1.1)</b>
商 品 券	36,336,403	5.1	-0.8 ( -1.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

## Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	-0.4%	(店舗数調整後／2か月ぶりマイナス)
2. 10都市以外の地区売上動向	-3.0%	( " / 2か月ぶりマイナス)

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>10都市</b>	<b>-0.4</b>	<b>-0.2</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
札幌	-0.5	0.0	3か月ぶりマイナス
仙台	-3.6	-0.1	8か月連続マイナス
東京	-1.1	-0.3	2か月ぶりマイナス
横浜	-1.7	-0.1	2か月ぶりマイナス
名古屋	1.2	0.1	2か月連続プラス
京都	-2.6	-0.1	2か月ぶりマイナス
大阪	2.3	0.3	2か月連続プラス
神戸	1.3	0.0	5か月連続プラス
広島	-4.7	-0.1	9か月連続マイナス
福岡	-0.2	0.0	2か月ぶりマイナス
<b>10都市以外の地区</b>	<b>-3.0</b>	<b>-1.0</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
北海道	-2.6	0.0	9か月連続マイナス*
東北	-3.3	-0.1	3か月連続マイナス*
関東	-3.7	-0.6	2か月ぶりマイナス
中部	-3.8	-0.1	9か月連続マイナス
近畿	-1.1	0.0	2か月ぶりマイナス
中国	-2.0	0.0	2か月ぶりマイナス*
四国	-1.9	0.0	2か月ぶりマイナス
九州	-2.7	-0.2	2か月ぶりマイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

### Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品と雑貨が2か月連続のプラス。衣料品と食料品が2か月ぶり、家庭用品が8か月連続のマイナスとなった。また、化粧品が5か月連続、美術・宝飾・貴金属が4か月連続のプラス、家電が2か月ぶりのプラスとなった。

#### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>-1.3</b>	<b>—</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
紳士服・洋品	-1.3	-0.1	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-1.6	-0.3	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-4.1	-0.1	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-3.3	-0.1	2か月ぶりマイナス
<b>衣料品</b>	<b>-1.8</b>	<b>-0.5</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>0.8</b>	<b>0.1</b>	<b>2か月連続プラス</b>
化粧品	1.7	0.1	5か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	0.7	0.0	4か月連続プラス*
その他雑貨	-2.7	-0.1	9か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	<b>+0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>2か月連続プラス</b>
家具	-5.3	-0.1	3か月連続マイナス
家電	19.0	0.0	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	-4.9	-0.2	2か月ぶりマイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-3.7</b>	<b>-0.2</b>	<b>8か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-3.0	-0.2	9か月連続マイナス*
菓子	-0.2	0.0	2か月ぶりマイナス*
惣菜	-1.0	-0.1	2か月ぶりマイナス*
その他食料品	-3.8	-0.5	2か月ぶりマイナス*
<b>食料品</b>	<b>-2.1</b>	<b>-0.8</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>2.7</b>	<b>0.1</b>	<b>2か月連続プラス</b>
<b>サービス</b>	<b>-1.0</b>	<b>0.0</b>	<b>7か月ぶりマイナス</b>
<b>その他</b>	<b>2.2</b>	<b>0.0</b>	<b>8か月ぶりプラス</b>
商品券	-0.8	0.0	22か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

## 全国百貨店 売上高速報 2012年01月～2012年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ( )が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>全 国</b>	<b>6,145,317,967</b>	<b>100.0</b>	<b>0.3 ( -0.1)</b>
<b>10都市</b>	<b>4,034,269,168</b>	<b>65.6</b>	<b>0.8 ( 0.9)</b>
札幌	151,972,959	2.5	-0.5
仙台	88,156,725	1.4	7.7
東京	1,520,317,899	24.7	2.1 ( 1.7)
横浜	357,533,713	5.8	1.3 ( 1.2)
名古屋	363,566,818	5.9	0.7
京都	241,682,691	3.9	-0.3
大阪	805,558,023	13.1	-0.8 ( 0.5)
神戸	168,748,099	2.7	1.4 ( -2.4)
広島	142,783,365	2.3	-2.7
福岡	193,948,876	3.2	-1.8 ( 1.4)
<b>10都市以外の地区</b>	<b>2,111,048,799</b>	<b>34.4</b>	<b>-0.6 ( -2.0)</b>
北海道	34,661,806	0.6	-2.6
東北	107,135,895	1.7	2.1 ( -1.6)
関東	1,008,133,518	16.4	0.1 ( -2.0)
中部	161,898,415	2.6	-4.3
近畿	207,179,004	3.4	-1.0
中国	148,660,131	2.4	-1.5
四国	113,873,727	1.9	-1.3
九州	329,506,303	5.4	-0.8 ( -1.9)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>6,145,317,967</b>	<b>100.0</b>	<b>0.3 ( -0.1)</b>
紳士服・洋品	431,854,331	7.0	1.5 ( 1.6)
婦人服・洋品	1,390,629,383	22.6	0.9 ( 0.5)
子供服・洋品	155,786,725	2.5	-1.1 ( -2.2)
その他衣料品	154,005,523	2.5	-2.3 ( -2.6)
<b>衣 料 品</b>	<b>2,132,275,962</b>	<b>34.7</b>	<b>0.6 ( 0.3)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>758,014,017</b>	<b>12.3</b>	<b>1.0 ( 0.2)</b>
化粧品	330,278,931	5.4	2.5 ( 2.2)
美術・宝飾・貴金属	278,032,059	4.5	3.4 ( 3.1)
その他雑貨	242,456,480	3.9	-3.5 ( -3.6)
<b>雑 貨</b>	<b>850,767,470</b>	<b>13.8</b>	<b>1.0 ( 0.8)</b>
家 具	77,161,331	1.3	-2.7 ( -2.9)
家 電	19,239,825	0.3	-1.8 ( -1.9)
その他家庭用品	203,576,989	3.3	-1.8 ( -2.5)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>299,978,145</b>	<b>4.9</b>	<b>-2.0 ( -2.5)</b>
生 鮮 食 品	366,960,882	6.0	-2.3 ( -2.9)
菓 子	461,726,210	7.5	1.1 ( 0.8)
惣 菜	372,680,468	6.1	1.5 ( 1.1)
その他食料品	537,283,167	8.7	-1.7 ( -2.2)
<b>食 料 品</b>	<b>1,738,650,727</b>	<b>28.3</b>	<b>-0.4 ( -0.9)</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>177,197,855</b>	<b>2.9</b>	<b>1.9 ( 2.2)</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>67,103,305</b>	<b>1.1</b>	<b>3.0 ( 2.2)</b>
<b>そ の 他</b>	<b>121,330,486</b>	<b>2.0</b>	<b>-2.0 ( -2.9)</b>
商 品 券	210,266,117	3.4	-14.4 ( -14.8)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで  
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>